## 2014年京大文 1

$$x^2-2(\cos\theta)x-\cos\theta+1=0$$
 ①  $x^2+2(\tan\theta)x+3=0$  ② 2 次方程式①と②が、ともに実数解を持つ条件を考える。  $0 \le \theta < 90^\circ$  のとき、 $0 < \cos\theta \le 1$  であるから

## ①が実数解を持つとき

$$D/4 = \cos^2\theta + \cos\theta - 1 = \left(\cos\theta - \frac{-1 - \sqrt{5}}{2}\right) \left(\cos\theta - \frac{-1 + \sqrt{5}}{2}\right) \ge 0 \quad \therefore \frac{-1 + \sqrt{5}}{2} \le \cos\theta \le 1 \quad ---3$$

②が実数解を持つとき

$$D/4 = \tan^2 \theta - 3 \ge 0 \quad \tan \theta \ge \sqrt{3} \quad 60^\circ \le \theta < 90^\circ \quad \therefore 0 < \cos \theta \le \frac{1}{2} \quad \boxed{4}$$

$$\frac{1}{2} = \frac{-1+2}{2} < \frac{-1+\sqrt{5}}{2}$$
 であるから、③かつ④となることはない。

したがって、与えられた4次方程式は、少なくとも1つの虚数解を持つ。(証明終)